

少年の日の思い出1
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

栓	瓶	斑	伏	網	塔	戯	甲	恥	微	愉	妙	闇	縁	腰	齋
セン	ビン	ハン	フク ふーせる ふーす	モウ あみ	トウ	ギ (たわむれる)	コウ カン	チ はーじる はーずかしい はーじらう	ビ	ユ	ミョウ	ヤミ	エン ふち	コシ (ヨウ)	サイ
栓	瓶	斑	伏	網	塔	戯	甲	恥	微	愉	妙	闇	縁	腰	齋
栓	瓶	斑	伏	網	塔	戯	甲	恥	微	愉	妙	闇	縁	腰	齋
一	、	一	ノ	く	一	、	一	一	、	、	く	一	く	、	、
⑬ 耳に 栓 をする (せん)	⑮ 牛乳 瓶 を運ぶ (びん)	⑭ モンシロチョウの 斑点 (はんてん)	⑬ 彼を待ち 伏 せる (ぶ せる)	⑫ 漁 網 を引き上げる (もう)	⑪ 法隆寺の五重 塔 (どう)	⑩ 幼児のお 遊戯 (ゆうぎ)	⑨ 甲 高い調子の声 (かん)	⑧ 間違えて 恥 ずかしい(はずかしい) ()	⑦ 微笑 を浮かべる (びしょう)	⑥ 愉快 な思い出 (ゆかい)	⑤ 妙 に心ひかれる (みよう)	④ 夜の 闇 につつまれる (やみ)	③ 襟の 縁 取り (ふち)	② 椅子に 腰 掛ける (こし)	① 書齋 で本を読む (しょさい)

少年の日の思い出1

その他の教科書に登場する漢字の読み

① マッチを 擦 る	(　)	す	る
② 透明 な窓ガラス	(　)	とうめい	(　)
③ 入口の戸を 閉 ざす	(　)	と	ざす
④ 星がきらきら 輝 く	(　)	かがや	く
⑤ 海を 眺 める	(　)	なが	める
⑥ 珍 しい話を聞く	(　)	めずら	しい
⑦ 夕方の 薄 暗がり	(　)	うす	(　)
⑧ 十歳 になったばかり	(　)	じっさい	(　)
⑨ 仕事に打ち 込 む	(　)	こ	む
⑩ ちょうを 採 る	(　)	と	る
⑪ 夏期 休 暇	(　)	きゆうか	(　)
⑫ 家までさっそうと 駆 ける	(　)	か	ける
⑬ 不安に 襲 われる	(　)	おそ	われる
⑭ 少年の 頃	(　)	ころ	(　)
⑮ 立ち上がった 瞬 間	(　)	しゆんかん	(　)
⑯ 思い 浮 かべる	(　)	う	かべる
⑰ シヤツが 乾 く	(　)	かわ	く
⑱ 馬が 荒 野を走る	(　)	こうや	(　)
⑲ 神 秘的 <small>な森</small>	(　)	しんぴてき	(　)
⑳ 珍 しい鳥を見つける	(　)	めずら	しい
㉑ 深く 呼 吸する	(　)	こきゆう	(　)
㉒ アゲハチョウの 触 覚	(　)	しょつかく	(　)
㉓ 緊 張をほぐす	(　)	きんちよう	(　)
㉔ 微 妙 <small>な違いに気づく</small>	(　)	びみよう	(　)
㉕ 欲 望 <small>にかられる</small>	(　)	よくぼう	(　)
㉖ 自 慢 <small>の歌声</small>	(　)	じまん	(　)
㉗ 評 判 <small>の高い作品</small>	(　)	ひようばん	(　)
㉘ 今朝の漁の 獲 物	(　)	えもの	(　)
㉙ 隣 の町へ行く	(　)	となり	(　)
㉚ りんごが 傷 む	(　)	いた	む
㉛ 自転車 が 壊れる	(　)	こわ	れる
㉜ 家業を 継 ぐ	(　)	つ	ぐ

送り仮名を意識して読みを(　)に書きましょう。

少年の日の思い出1

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① しょさいで本を読む	(書齋)	①7 マッチをする	(擦る)
② 椅子にこし掛ける	(腰)	①8 どうめいな窓ガラス	(透明)
③ 襟のふち取り	(縁)	①9 入口の戸をとぎす	(閉ざす)
④ 夜のやみにつつまれる	(闇)	②0 星がきらきらかがやく	(輝く)
⑤ みように心ひかれる	(妙)	②1 海をながめる	(眺める)
⑥ ゆかいな思い出	(愉快)	②2 めずらしい話を聞く	(珍しい)
⑦ びしょうを浮かべる	(微笑)	②3 夕方のおす暗がり	(薄)
⑧ 間違えてはずかしい	(恥ずかしい)	②4 じっさいになったばかり	(十歳)
⑨ かん高い調子の声	(甲)	②5 仕事に打ちこむ	(込む)
⑩ 幼児のおゆうぎ	(遊戯)	②6 ちようをとる	(採る)
⑪ 法隆寺の五重 ^{ほりゅうじ} とう ^{ごじゅうの}	(塔)	②7 夏期きゆうか	(休暇)
⑫ 漁 ^{いし} もう ^{いし} を引き上げる	(網)	②8 家までさつそうと	(駆ける)
⑬ 彼を待ちぶせる	(伏せる)	②9 不安におそわれる	(襲われる)
⑭ モンシロチョウのはんてん	(斑点)	③0 少年のころ	(頃)
⑮ 牛乳びんを運ぶ	(瓶)	③1 立ち上がったしゅんかん	(瞬間)
⑯ 耳にせんをする	(栓)	③2 思いうかべる	(浮かべる)

少年の日の思い出1

教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① シャツが かわく	()	乾く	()	□ ほんご しを入れる	()	本腰	()
② 馬が こうや を走る	()	荒野	()	□ えんがわ で涼む	()	縁側	()
③ しんぴ てきな森	()	神秘的	()	□ えんぎ をかつぐ	()	縁起	()
④ めず らしい鳥を見つける	()	珍しい	()	□ みようあん を思いつく	()	妙案	()
⑤ 深く こき ゆうする	()	呼吸	()	□ びせいぶ つの研究	()	微生物	()
⑥ きんち ょうをほぐす	()	緊張	()	□ むとん ちゃくで むち な人	()	無恥	()
⑦ びみ ような違いに気づく	()	微妙	()	□ 失敗を は じめる	()	恥じる	()
⑧ よく ぼうにかられる	()	欲望	()	□ こうこ つ文字	()	甲骨	()
⑨ ひよう ばんの高い作品	()	評判	()	□ シェイクスピアの ぎ きよく	()	戯曲	()
⑩ 今朝の漁の えもの	()	獲物	()	□ 野球界の きんじ とう	()	金字塔	()
⑪ となり の町へ行く	()	隣	()	□ じよう ほうもうを張り巡らす	()	情報網	()
⑫ りんごが いた む	()	傷む	()	□ いち もう だ じん	()	一網打尽	()
⑬ 自転車が こ われる	()	壊れる	()	□ 感情の き ふくが激しい	()	起伏	()
⑭ 家業を つ ぐ	()	継ぐ	()	□ 病に ふ す	()	伏す	()
()	()	()	()	□ ガラスの か びん	()	花瓶	()
()	()	()	()	□ しょう かせんを設置する	()	消火栓	()